

2021年3月8日

報道関係各位

一般社団法人日本少額短期保険協会
東京都中央区八丁堀三丁目12番8号
HF 八丁堀ビルディング2F

第7回 「少額短期保険（ミニ保険）の日」記念イベントを開催しました。 ～初のオンライン開催～

一般社団法人日本少額短期保険協会（東京都中央区八丁堀 会長：渡邊 圭介）は、2021年3月2日に、第7回「少額短期保険（ミニ保険）の日」記念イベントを開催しました。

【少額短期保険（ミニ保険）の日とは】

少額短期保険をもっと多くの方にしてもらいたい思いから、2014年に3月2日を「少額短期保険（ミニ保険）の日」と定め毎年同日にイベントを開催しています。

○3月2日に制定の由来

少額短期保険はミニ保険とも呼ばれており、3月2日の3と2が「ミニ」と語呂合わせになることから制定しました。

※日本記念日協会に記念日登録しています。



【初のオンライン開催】

コロナ禍の影響で、従来までの来場型イベントの開催が難しい昨今の情勢に配慮し、今年のイベントは、初のオンライン開催となりました。

総勢150名を超える方にご視聴者いただきました。

イベント冒頭、渡邊会長からの挨拶では、コロナ収束とは言えない状況が続いている中オンライン形式でこのイベントを開催できること、このイベントを多くの方がご視聴いただいていることに感謝を申し上げます。イベントは、以下の4つの企画を実施しました。



本番直前リハーサルの様子

【震災孤児・遺児支援募金の贈呈】

2011年の東日本大震災で被災された、親を亡くした子どもたちへの支援として、10年間募金での支援を実施すること決めてから、今年で10年目、最後の支援の年となりました。支援を行うことを決定した当時の協会長 榎本 重秋（ぜんち共済 代表取締役社長／日本少額短期保険協会理事）より、支援決定にいたる当時の心境をコメントいただき、10年間の取り組みを総括しました。会員各社からの募金は、公益財団法人みちのく未来基金様に寄附しています。なお、10年間の募金の総額は1,060万円となりました。

【おもしろミニ保険大賞コンテスト 優秀作品発表】

「こんな保険あったらいいな」と思う、今までになかった、ありそうでなかった保険のアイデアを一般の方に応募いただき、優秀作品を決めるコンテスト。第7回目今回は、オンラインイベント主催者向けのアイデア「オンラインイベント保険」に決定しました。

同コンテストの優秀作品は、ファイナンシャルプランナーの
畠中 雅子先生、竹下 さくら先生をお招きし構成した
「選定委員会」で決定しています。各賞の詳細は、下記の特設ページをご覧ください。

○おもしろミニ保険大賞コンテスト特設ページ

<https://www.campaign0302.com/>



今年の応募総数は、2,278 通

【少額短期保険大賞 大賞商品の発表】

その年で発売された少額短期保険商品のうち、もっとも「少額短期保険らしい」商品を決めるコンテストです「独創性」や「ニッチでユニーク」な商品が、これまで受賞しています。少額短期保険各社による事前の投票で、大賞を決めています。

今年の少額短期保険大賞は、スマートプラス少額短期保険の「母子保険 はぐ」に決まりました。

この保険の特長は、切迫早産や産後うつなど妊婦から子育て期特有のリスクをきめ細かく保障するだけではなく、出産のタイミングで特約が自動で切り替わり、これまで不可能だった、赤ちゃんを被保険者とする医療保障が可能となります。

ママと赤ちゃんをカバーする保険として日本初の商品であることが、評価されました。



【新規設立会社のプレゼンテーション～ニューカマーの躍動】

3月2日時点で109社を数える少額短期保険会社。
新進気鋭の新規設立会社がプレゼンテーションを行いました。
昨年は、コロナ禍の影響で来場型のイベントが中止となったため今年は2年分の会社のプレゼン発表となりました。

プレゼンを発表いただいたの会社は下記のとおりです。

- Mysurance
- あおぞら少額短期保険
- スマートプラス少額短期保険
- ジェイコム少額短期保険
- ダブルエー少額短期保険
- SUDACHI 少額短期保険
- カイラス少額短期保険
- 宅建ファミリーパートナー（プレゼン/資料紹介順）



【コロナ禍に負けない業界を目指し】

初のオンライン開催となった今回のイベント。締めくくりの挨拶では、「コロナ禍に負けずに、存在感を高め、消費者の皆様にお役に立つ業界になっていく」ことを誓って、盛会のうちに幕を閉じました。

以上

本件に関するお問い合わせ先：一般社団法人日本少額短期保険協会（担当：杉本/岡崎/柁淵）

info@shougakutanki.org